

みんなが笑顔 助け合いのまち高田

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

- ・ おたがいさまの気持ちでひろげる助け合い
- ・ 同世代の交流や世代間の交流を進め、
いっそう活気のあるまちにしよう
- ・ 思いやりと支えあいの心で、気軽に地域活動に参加してみよう



◇主な施設分布状況

- 区民利用施設
- 自治会・町内会館
- みんなの居場所
- 高齢者施設
- 障害児・者施設
- 子育て支援施設
- 地域防災拠点
- ⊕ 病院
- 文教厚生施設 (学校、福祉施設、寺社等)
- 公園
- 河川・水路
- バス路線・バス停
- 鉄道・駅

- 高齢者施設：
- ① 小規模多機能施設
 - ② グループホーム
 - ③ 特別養護老人ホーム等の施設
 - ④ 有料老人ホーム
- 障害児・者施設：
- ① 地域活動ホーム・生活支援センター
 - ② 障害者グループホーム
 - ③ 障害者福祉サービス事業所等
 - ④ 放課後等デイサービス
- 子育て支援施設：
- ① 子育て支援拠点・親と子のつどいの広場
 - ② 保育園
 - ③ 幼稚園
 - ④ 放課後児童クラブ

◆地区の概況

地区の概況

区の北西部にあり、地区の北側の一部は市街化調整区域になっています。居住者の約60%は戸建住宅に住んでいます。市営地下鉄グリーンラインの高田駅があり、また、宮内新横浜線の整備が計画されていることから、交通の利便性が向上することが予想されます。

人口等の特徴

地下鉄グリーンライン開通後は人口の緩やかな増加傾向が見られます。20歳代の転入が増加していますが、一方で居住歴が長い人が多く、高齢者の比率も高くなっています。平均世帯人数は少なくなってきましたが、区の平均を上回る状態が続いています。人口、世帯数とも今後はほぼ安定した状態になりますが、順次高齢化していきます。

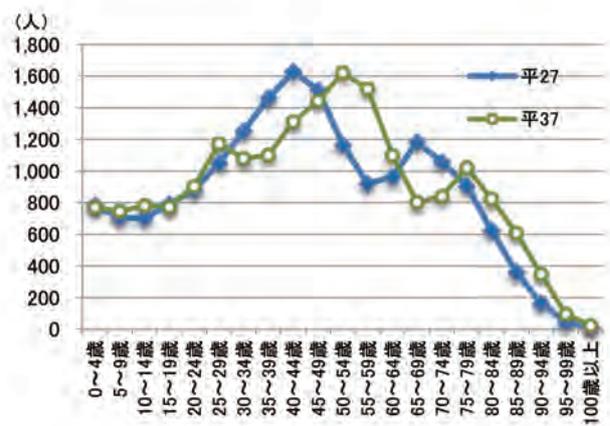
福祉保健活動の状況

各町内会で災害時要援護者支援に取り組んでいます。地区内に高田地域ケアプラザがあり、様々な福祉保健活動の拠点となっている他、親と子のつどいの広場「たかたんのおうち」があります。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

自治会町内会ごとに災害時要援護者への対策に取り組み、その取り組みを通じて隣近所のつながりを目指しました。

●地域の現状と課題

一人暮らしの高齢者が増えてきています。若い方は増えていますが、地域の活動への参加は活発ではありません。活動の拠点となる場所が少ないことが課題です。

●今後の方向性

高田町連合町内会と高田地区社会福祉協議会は、お互いの活動を充実し、連携を深めていきます。災害時要援護者支援の取り組みや、地域で活動している団体の顔の見える関係づくり、子育てに関わる人や施設のネットワークづくりなど、民生委員、地域ケアプラザとも協力して進めていきます。

◆ 計画策定の経過

自治会町内会や行政からの委嘱委員、地区社会福祉協議会、地域で福祉活動を行う団体から意見を聞き、策定委員会で計画としてまとめました。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

高田町連合町内会、高田地区社会福祉協議会、各活動団体などが計画に基づいて推進します。「ひとつプラン役員会」において今後の方向性を検討し、年2回開催する「ひとつプラン推進委員会」で情報共有と確認を行います。

◆具体的な取り組み

支援が必要な人を把握し、日頃から見守っていきます

- 自治会町内会ごとに災害時に要援護者を支援する仕組みをつくります。
 - ・ 災害時要援護者の名簿やマップを作成し、定期的に内容を確認します。
 - ・ 自治会町内会と民生委員が要援護者に関して定期的に情報交換します。
 - ・ 防災拠点訓練等にあわせて要援護者の安否確認を行います。
- 隣近所の緩やかな見守り、支え合いがあるまちづくりを進めます。
 - ・ 自治会町内会と民生委員等が連携して見守り活動を行います。
 - ・ いざというときに隣近所で助け合う意識を高めます。



地域活動への参加と交流を通じて顔の見える関係づくりを進めます

- 行事や活動への参加を促します。
 - ・ ホームページや広報紙、口コミで活動の魅力を伝えます。
 - ・ 高齢者と若い方、子どもたちが一緒になって楽しめるイベントを検討します。
- 地域活動の担い手を育てます。
- 住民同士が交流できる場をつくります。
 - ・ 住民の誰もが気軽に集えるサロンや居場所の活動を継続、充実します。
 - ・ 「ふらっと高田」「たかたんのおうち」を活用します。
 - ・ ウォーキングや趣味活動を通じて仲間づくりを行います。



支援を必要としている人を、地域のネットワークで支えます

- 地域の福祉活動団体がそれぞれの活動を充実していきます。
- 活動団体同士が顔の見える関係をつくります。
 - ・ 活動団体同士や福祉施設が、情報共有や課題検討する場をつくります。
 - ・ 自治会町内会と委嘱団体が連携してまちの活動に取り組みます。
- 高齢者や障がい者等への理解を深めます。
 - ・ 住民に向けて啓発講座を実施します。
 - ・ 高齢者や障がい者が集えるサロンなどの活動を通じて交流を深めます。
- 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）と連携し、住み慣れた地域で暮らし続けられる仕組みづくりに取り組みます。



子どもたちと地域のつながりを深め、町ぐるみで子育てを支えます

- 子育てを支援し、また、子育て中の方に地域とつながる重要性の理解を促します。
 - ・ 子育て世帯同士や、子育て世帯と地域の交流を充実し、顔の見える関係をつくります。
 - ・ 子育てサロンや保育園などを通して、子育て世代の方に地域の情報を伝えます。
 - ・ 地域の幼稚園や保育園と連携して子育て支援を行います。
- 地域と学校が連携し、子どもと地域のつながりをつくります。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



高田地区ネットワーク

高田町連合町内会

高田町内会・高田中央町内会・高田町親和会
高田東町会・高田町住宅自治会・高田町住宅親交会
自治会しらすか・高田西原自治会

防犯・防災活動や住民相互の親睦、町の環境整備に取り組んでいます。ひっとプランでは自治会町内会ごとに災害時要援護者支援に取り組み、要援護者の把握や、日常的な見守り活動を行っています。

地震災害に備えて、地域防災拠点の訓練に積極的に参加しましょう

高田地区社会福祉協議会

高齢者、子ども、障がい者の方々とその活動団体の声を聞く機会を設けるなど、地域の福祉活動団体同士のネットワークづくりを行っています。



家庭防災員

地域防災の担い手として活躍するため、研修を受け、活動をしています。

消費生活推進員

消費生活に関する情報の啓発や調査活動を行っています。

民生委員児童委員協議会

地域において住民の立場に立って、赤ちゃんから高齢者まで世代を問わず相談に応じています。また必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役も担っています。
75歳以上ひとり暮らし見守り訪問事業や高齢サロン・障がい児者支援・子育て支援事業などにも参加しています。

高田消防団

災害発生時の消火活動、救助、避難誘導などの他、防災訓練等での啓発活動を行っています。

スポーツ推進委員 連絡協議会

地域のスポーツ振興を目的に、大運動会・港北区駅伝大会をはじめ子どもからお年よりまでが楽しめるスポーツでペタンク大会・グラウンドゴルフ大会等を開催しスポーツ普及・育成活動を推進し、健全な町作りに取り組んでいます。

保健活動推進委員会

地域における健康づくりの推進役として、各種研修を受け、ウォーキングや健康測定会などの活動を行っています。禁煙おすすり隊の啓発活動も行っています。

明るい選挙 推進協議会

選挙に関する啓発活動を行っています。

青少年指導員協議会

「青少年の健全な育成」を願い、パトロールやあいさつ運動、ペットボトルロケット製作講習会、夏休みバスツアー等を行っています。

環境事業 推進委員

ゴミの分別排出の啓発や、地域の美化活動に取り組んでいます。

高田地域ケアプラザ



高田地区キャラクター たかたん

子育てネットワーク

親と子のつどいの広場
「たかたんのおうち」

高田小学校
高田東小学校
高田中学校

みんなの居場所
「ふらっと高田」

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

高田地区社会福祉協議会

TEL 045-543-5561 FAX 045-543-5561

高田地域ケアプラザ

TEL 045-594-3601 FAX 045-594-3605

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp